

水性ハイブリッド塗料

高耐  
候性

耐汚  
染性

# セラホープ RF

コンクリートおよび窯業材面にけい酸塩系ハイブリッド塗料を塗布することにより、耐候性、セルフクリーニングに優れた高硬度で、超親水性を持つ艶無しマット状の塗膜を形成します。この塗膜はコンクリート、セメント材を紫外線他劣化有害因子から保護することができます。また厚膜を作ることができるため凹凸のある下地や旧塗膜がある塗り替え面にも適用することができます。

セラホープRFは、コンクリート、窯業系材料の化粧・保護用に開発された水性常乾型塗料で超親水性・水蒸気を通す通気性で雨で汚れが流れ落ちる「セルフクリーニング性」に優れた耐候性の高い、艶無化粧膜を形成します

## 性状

|         |                                                                                                                                                            |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外観      | 各色（調色可能）                                                                                                                                                   |
| 主成分     | SiO <sub>2</sub> 、MgSiO <sub>3</sub> 、TiO <sub>2</sub> (Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> 他)、Na <sub>2</sub> O、Li <sub>2</sub> O、K <sub>2</sub> O<br>アクリルシリコン |
| 臭気      | 無臭                                                                                                                                                         |
| pH      | 10.0～12.0                                                                                                                                                  |
| 比重(23℃) | 1.1～1.3                                                                                                                                                    |
| 希釈      | 水                                                                                                                                                          |
| 可使時間    | 1か月                                                                                                                                                        |



## 特徴

- ① 耐候性の高いマット状の艶無し化粧膜をつくる。
- ② 超親水性の膜で静電気を帯びづらく、耐自然汚染性（セルフクリーニング性）に優れる。
- ③ 呼吸性があり、水蒸気が透過する膜を形成する。
- ④ 硬度が高く紫外線の影響も殆ど受けず、耐薬品性に優れた膜をつくる。
- ⑤ 常温下で短時間に指触乾燥し、その後2～3週間で凝集反応が終了し安定塗膜となる。

## 使用方法

- ① 基材の調整  
コンクリート及び窯業材面を洗浄する。  
また、吸水性の高い面及びリフォームの場合で旧塗膜が残存している面の場合は次のようにプライマーを使用する。

| 基材      | 製品名         | 塗布量                      | 特記事項              |
|---------|-------------|--------------------------|-------------------|
| 吸水性の高い面 | 水性浸透性シーラー   | 0.15kg/m <sup>2</sup> 2回 | 1回目塗装後、2時間空けて塗装する |
| 旧塗膜面    | タイヨー浸透性シーラー | 0.12kg/m <sup>2</sup>    | 溶剤の為、旧塗膜の確認が必要    |

- ② 塗料の調整 均一になるまで攪拌する。  
夏場の高温期で乾燥が早い時期は7%を上限に希釈して使用し、冬場の低温期(5℃以上)は原則として無希釈とする。
- ③ 塗 装 低圧霧化エアー、エアーレススプレー、中短毛ローラー、水性用刷毛等により0.15～0.2kg/m<sup>2</sup>を2回塗布する。  
(上塗り-1の後、上塗り-2迄の乾燥養生は2～3時間とする)
- ④ 乾燥・硬化 塗布後、常温下(10℃以上)6～12時間で乾燥して使用できる状態になる。  
硬化反応は、その後も約3週間進行し、最終硬度になる。
- ⑤ 密着不良やふくれ剥がれなどの不具合は、塗膜の反応凝集により12～24時間程で発生する。